

ふじみ野

No.52

H31.2.1 発行

埼玉県ふじみ野市議会

CONTENTS

芸術や文化の薫る
まちづくりに向けて 総括質疑 2p

ギカイの動き 市議会防災訓練を初実施 6p

市政を問う！ 一般質問 8p

17人が政策論議

市議会だより



働く人シリーズ③ 弁護士

弁護士は、日常的に起こりうるさまざまな法律問題を処理するだけでなく、そのようなトラブルを未然に防ぐために仕事をしています。法廷では「異議あり!」と、社会正義の実現のために尽力しています。

関連記事: 14ページ

平成30年第4回定例会では、一般会計補正予算、都市公園条例の一部改正、市立介護予防センターの指定管理者の指定などの市長提呈議案24件全てが可決されました。一般会計補正予算では、文化施設整備事業のアドバイザリー業務

などについて活発な議論が行われました。また、議員提呈議案6件のうち被災者生活再建支援法の支援拡充の改正を求める意見書が可決されたほか、市議会における綱紀肅正に関する決議が可決されました。

芸術や文化の薫るまちづくりに向けて



勤労福祉センターホール

平成30年度一般会計補正予算（第3号）

個人市民税 人口増で当初予算を上回る

問 増額の要因は。

答 個人市民税増額の要因として、子育て支援施策の推進効果や住宅開発等の影響により人口が増加し約6000万円の増額となった。また、平成29年の台風第21号の被害に伴う雑損控除額が想定より2000万円下回ったことが挙げられる。

固定資産税 家屋と償却資産も増加

問 増額の要因は。

答 家屋については、3

年に1度の評価替えによる減価償却が当初の予想を下回り約2500万円の増額となったほか、新築家屋のうち非木造家屋の建築資材や設備の相違等により、予想を上回る約800万円の増額となった。

償却資産については、大規模事業者の設備投資があり、約2700万円の増額となった。

**文化施設整備事業
ホールと公民館を併せて整備**

問 文化施設と公民館は別の役割があり、近隣市町ではそれぞれ独立している。

答 漆喰部分は仕上げま

土地区画整理事業 産業団地の早期完成へ

問 増額補正をする効果と今後の進捗状況は。

答 大井中央公民館の建て替えと勤労福祉センター大規模改修の業務実施方針の策定等を行う。

推計も踏まえ試算している。利用者数は増加しているが、この傾向が長期間続くかどうかの見極めは難しい。

福岡河岸記念館管理運営事業

台風による文化財の修繕を

問 福岡河岸記念館の台風の被害状況は。

答 3度の台風により、母屋東側台所屋根の軒の漆喰が下地から剥落、離れ2階の雨戸戸袋の板が脱落し破損、南側外構の板塀が破損するなどの被害があった。現在、緊急

運動公園の整備が進む

問 フットサルコート使用料の積算根拠は。

答 使用料の算出は受益と負担の適正化に関する基本方針に基づき、経費を算出したところ、金額がフットサルコートのある大井武蔵野の多目的グラウンドの利用料金より

市では公民館を含めた整備を行うとのことだが、どのような施設になるのか。

答 社会教育施設が築いてきた市民の学習活動や文化活動を継承し発展させるため、文化施設整備として融合させることを検討している。

問 文化施設整備事業アドバイザリー業務は何をするのか。

答 大井中央公民館の建て替えと勤労福祉センター大規模改修の業務実施方針の策定等を行う。

で乾燥時間を要するため今年6月を、外構は板塀に使用する木材の乾燥・調整をし、4月を予定している。

都市公園条例の一部改正

高額となった。整合性を図るため同一料金とし、コート1面1時間当たり1500円とした。

問 整備の内容とスケジュールは。

答 全面人工芝とし、フットサルコート2面と無料で利用できる3人制バスケットボールコート2面、練習ボード1面及び休憩施設の整備を進めている。完成は3月中旬を予定し、4月からの供用開始を目指している。

◆議案に対する質疑

青 藍 会 加藤 恵一 議員
日本共産党 床井 紀範 議員
公 明 党 川畑 京子 議員
信 政 会 有山 茂 議員
会派外の議員 民部 佳代 議員

総括質疑

本会議での質疑をまとめています。

答 来年度に実施予定であった業務について、今年度に前倒しして実施すること、再来年度末ごろまでを目指していた事業認可の時期についても前倒しできる見込みとなる。このため、想定よりも早期に産業団地が完成し、雇用の拡大、税収増加及び水害対策も早期に図られる。

事業を実施する準備委員会と協定を締結した業務代行者が早期事業化を目指し、現在計画の検討

を進めており、市としても協力をしていく。

児童発育・発達支援事業 療育スペースの拡大

問 事業の政策効果は。

答 平成27年4月に事業開始をした児童発育・発達支援センターでは、通所支援事業と相談事業を行っている。昨年度からペアレントトレーニングを開始した。事業開始時から平成

30年3月末まで、事業の実績はそれぞれ3倍強の増となっている。利用者の増加に伴い、これまで相談室の狭隘化の解消を図った。今回の補正予算では療育スペースの狭隘化の解消を図る。これにより、事業の充実につながると思われる。

問 潜在需要を含めた今後の利用者推計は。

答 保健センターの1歳6カ月児健診と3歳児健診において児童数を把握するとともに、将来人口

以上、可決

可決

以上、可決

可決

以上、否決

可決

提出議案と審議結果

◎全員賛成 ○賛成多数 ・否決

… 平成30年度補正予算 …

- ◎一般会計（第3号）
- ◎一般会計（第4号）
- ◎国民健康保険特別会計（第2号）
- ◎介護保険特別会計（第2号）
- ◎介護保険特別会計（第3号）

以上、可決

… 条例の一部改正 …

- ◎手数料条例の一部改正
- ◎情報公開条例等の一部改正
- ◎国民健康保険税条例の一部改正
- ◎市立放課後児童クラブ条例の一部改正
- ◎都市公園条例の一部改正
- ◎法定外公共物管理条例の一部改正
- ◎下水道条例の一部改正
- ◎市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
- ◎市長及び副市長の給与等に関する条例の一部改正
- ◎職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正
- ◎市議会委員会条例の一部改正

以上、可決

… 契約の締結 …

- ◎市立元福小学校校舎大規模改造工事請負変更契約の締結

可決

… その他 …

- ◎道路線の認定（4件）
- ◎市立市民交流プラザ及び市立コスモスホールの指定管理者の指定
- ◎市立介護予防センターの指定管理者の指定
- ◎市立放課後児童クラブの指定管理者の指定
- ◎財産の取得

以上、可決

… 意見書 …

- ◎被災者生活再建支援法の支援拡充の改正を求める意見書

可決

- ・国民健康保険に対する国庫負担の拡充を求める意見書

- ・消費税の10％への増税中止を求める意見書

- ・日米地位協定の抜本的見直しを求める意見書

- ・外国人労働者の権利保障を求める意見書

以上、否決

… 決議 …

- ◎市議会における綱紀肅正に関する決議

可決

平成 30 年度一般会計補正予算（第3号） | 全員賛成で可決

公民館等の改修で新しい文化施設はどんなもの

文化施設整備事業

補正額：1450万9千円

新しい文化施設の整備が、上福岡公民館などの改修から始まっていきます。

問 文化振興審議会から基本構想等の答申は出されているか。

答 11月19日に文化施設の基本構想の中間答申があった。今後の基本計画ではホールの規模、公民館の機能など、計画的に進めていく。ワークショップ等を順次実行しながら進めたい。

問 公民館で活動している方の意見を聴取するのに、いろいろな場が必要では。

答 公民館の利用団体の代表者、社会教育委員、公民館運営審議会等、さらに利用団体などに説明をし、意見聴取はしっかりと進めている。今後は代替施設についても説明していく。

問 教育委員会の所管である公民館の改修を市長部局で行うのか。

答 公民館事業はもとより、それ以外に文化芸術基本法や生涯学習振興法等のさまざまな事業展開をできる文化施設を建設する予定であり、総合的な施設として文化・スポーツ振興課で予算計上をした。

救急医療をあんしんサポート

在宅高齢者福祉事業

補正額：100万2千円

単身高齢者の医療情報や緊急連絡先を把握する台帳整備の費用が増額補正されました。

問 増額補正の内容と主な理由は。

答 高齢者の医療情報や緊急連絡先等の把握について、救急医療情報キットの配付を実施してきたが、キットの設置は任意のため、親族等や施設入居など、実数は3500人程度と考えている。

問 今回郵送される対象者や人数は。

答 対象になるのは、75歳以上のひとり暮らしの高齢者である。配付は4000人程度だが、転出が、キットの設置は任意のため、親族等や施設入居など、実数は3500人程度と考えている。

問 返信された調査票のデータ

をあんしん台帳へ電子入力しギットの保管用として対象



救急医療情報キット

引き続き、待機者ゼロの継続を

放課後児童クラブ整備事業

補正額：331万円

上野台放課後児童クラブの利用者の増加に伴い、施設を増設するための測量や設計に関する予算が計上されました。

問 増設される上野台放課後児童クラブの構造や施設規模は。

答 上野台小学校の児童数が増加したことに伴い、狭隘化防止の解消を図り、市の放課後児童クラブの待機児童ゼロを継続するために整備する。

施設の概要は、木造2階建て、予定延べ床面積は約230㎡、施設定員は2支援単位80名の計画で、予定敷地面積は約250㎡となっている。なお、建設予定地については、上野台小学校校庭内の既存クラブに隣接する場所を予定している。



上野台放課後児童クラブ

条例改正

賛成多数で可決

新たなスポーツゾーンの整備

都市公園条例の一部改正

運動公園プール跡地の仮設駐車場を閉鎖、新たにフットサルコート2面が整備されオープンします。

問 フットサルコートの規模は日本公式基準であるか。

答 国際サッカー連盟（FIFA）発行のフットサル競技規則の寸法を確保している。

問 稼働率はどうの程度を見込んでいるか。

答 現在、フットサルが利用できる多目的グラウンドの稼働率が33%であることから、30%前後と考えている。



整備中のフットサルコート

指定管理者の指定

全員賛成で可決

期待される介護予防の拠点にふさわしく

市立介護予防センター 指定管理者の指定

新たに設置される介護予防センターの指定管理者を選定した経緯について審議が行われ、市の考え方などを確認しました。

問 選定に当たってどのような活動が評価されたか。

答 ボランティアの養成、マッチングシステムの運用実績、また自主グループづくりに重点を置いた提案の評価が高かったと考える。

問 ボランティアの育成、スキルアップへの取り組みを確認したのか。

答 ボランティアは介護予防、栄養改善、健康づくりが主だが、選定された法人ではさまざまな教室を開催し、その卒業生等を自主グループ化している実績がある。そうした自主グループがそれぞれの地域に出て介

護予防を広める拠点となり得ると考えている。

問 お出かけサポータータクシーの共通乗降場や市内循環ワゴンの停留所などの設置は。

答 高齢者あんしん相談センター併設のため、既に共通乗降場となっている。市内循環ワゴンについては路線の見直し等の際に議論を進めていきたい。

問 当面の業務量、利用の数をどの程度と想定しているか。

答 各教室、事業等は週3回あるいは4回程度、ふじみんぴんしゃん体操等の普及

啓発は毎日行う予定である。機能訓練室は40人から50人程度、各種教室については定員30人から50人程度を見込んでいる。



体操で元気な体に

地域探訪

編集委員が
訪ねました



市内では、地域内で収穫される新鮮な野菜や米、花などを軽トラックの店舗にて生産者の方々が直接販売を行う軽トラ市が行われています。

開催時期は年4回（3月・5月・10月・12月）で野菜の収穫時期に合わせているそうです。

今回は12月の軽トラ市にお邪魔しました。来場される方々は開催場所の近くにお住まいの方が多い様子でした。今回は地元

冬の味覚を地域の農産物で 楽しむひととき「軽トラ市」

野菜を使ったすいとんが来場者に振る舞われました。

参加された方々に、軽トラ市についてインタビューしてみました。

「お買い物中の方から」

近所で開催を聞き、買い物にきました。移動の負担も少なく、家の近所で新鮮な野菜を安価で購入できてうれしいですね。

「出店者の方から」

1年を通じて里芋・ネギ・人参・キャベツなどを生産しています。今日は、買い物にいられた方が多くうれしいです。育てた農作物を消費者の方々に直接届けられるのがいいですし、買い物を通じて地域の方々とコミュニケーションを図ることで生産者として意欲が湧いてきます。

「協賛企業の方から」

出店者、来場者ともに増えています。出店される方々に販売価格などを安価に設定していただき感謝しています。軽トラ市の周知は市の産業振興課が中心となり広く宣伝していただき、認知度も向上してきています。今後もさらに多くの方々に「来場いただければ幸いです」。

ふれあい広場でインタビュー

12月1日、障がい者週間記念事業、第23回ふれあい広場が大井中央公民館で開かれました。参加していた市民に以下の点を聞きました。

- ・議会だよりを読んだことはありますか。
- ・議会に期待するのはどんなことですか。



中学生の保護者の方

議会だよりを読んだことはありません。15年近く住んでいますが、ふじみ野市は住みやすくよいまちだと思います。子どもの将来は心配ですが、今は中学校でのびのびと過ごさせていただいています。

施設職員をしている方

いつも読んで注目しています。やはり障がい者の問題がどう扱われているか、気になるところです。そうですね、要望としては市内に入所施設がほしいです。

中学校の介助員をしている方

大井西中学校の介助員をしていて広報などは読んでいます。議会は遠い存在で、気軽には行けないし、それでもいろいろ話を聞いてほしいと思います。

ギカイの動き

市議会防災訓練を初実施

災害発生時の議会・議員の動きを確認

平成30年11月11日（日）

市議会では昨年6月に災害時における議会・議員のとりべき対応・体制を確立するため、ふじみ野市議会災害対策指針を定めました。今回、第7回ふじみ野市総合防災訓練時に併せて、災害時における議会及び議員のとりべき対応・体制の確認及び検証を行いました。

【訓練内容】

●市議会災害対策会議の設置

正副議長及び各会派代表者による市議会災害対策会議が設置され、市災害対策本部へ情報提供を行いました。

また、市災害対策本部からの情報・指示を各議員へ情報提供を行いました。

●各地区の避難訓練に参加した議員の対応

各地区の避難所の訓練に参加し、自身の安否や各避難所の状況を報告しました。その後、市議会災害対策会議から受けた情報・指示に基づいて行動しました。



市議会災害対策会議の設置訓練



【訓練所感】

ふじみ野市議会災害対策指針を受けて実施した本訓練は、新たな試みとしてタブレット端末を用いて市議会災害対策会議へ各指定避難所の状況をリアルタイムで共有することができました。

災害は、いつ起こるか分かりません。有事の際に迅速に行動できるように、市議会としても務めていきます。

議員研修会

新時代にふさわしい地方議会の改革とは

平成30年12月13日（木）



専修大学の小林弘和教授を講師にお招きし、「新時代における地方議会の役割」と題し、議員研修会が行われました。

地方分権時代に求められる自治体や議会の改革と課題などについて話がありました。

議員からも活発な質問が出されるなど、大変有意義な内容となりました。

市政を問う！

一般質問

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。今回の議会では、17人の議員が一般質問を行いました。掲載した内容は各議員本人が要約したものです。なお、全ての質問と回答は市議会ホームページの会議録で閲覧できます。（2月中旬掲載予定）

非認知的能力の育成

渡辺 大議員

問 非認知的能力とは、目標や意欲、興味、関心を持ち、粘り強く、仲間と強調して取り組む力や姿勢のことをいうが、この能力は、幼児期、小学校時代に育成することが効果的である。子どもの持つ可能性を最大限に発揮させてあげるには極めて重要である。

答 これまでも、やればできる喜びの感覚や友達の気持ちを感じて協力する力などを醸成する保育

教育活動を実践してきた。ただし、節目ごとに目標となる理想の姿があまり明確でなかったことは課題である。

大腸内視鏡検査への助成

問 アメリカでは、大腸内視鏡検査の普及もあり大腸がん患者をピーク時の3分の2に激減させている。50歳時点での腺腫の有無を確認することで、その後の大腸がん発生のリスクを予測することも可能とも言われている。市の考えは。

答 検査に伴うリスクもあるため、国や他市の状況を注視し、医師会の助言も参考にしながら研究する。

自治組織の情報サービス機能の導入提案

島田和泉議員

問 自治組織ごとのWebサポーター担当職員の設置は。

答 ICTを導入してWeb上で担当職員が地域の課題を受けつけたり、相談に乗ったりする仕組みがあれば、役員の負担軽減につながると思う。臨機応変な対応を考慮しながら、担当職員の導入やICT導入による効果などを研究したい。

市の文化芸術圏構想を提案

問 開かれた芸術への取り組みは。

答 文化振興審議会からの中間答申では、法律の趣旨を踏まえ、誰もが訪れやすい施設整備障がいの有無に関わらず、気軽に参加で

きる文化芸術鑑賞・体験・学習などの事業やサービス提供を基本理念に掲げている。

風疹の抗体検査周知及び予防接種の助成

問 風疹・麻疹などの予防接種助成の必要性は。

答 例年に比べれば発生件数は多い状況となっている。平成25年の流行時と同様な傾向が見られるようであれば、近隣市町の状況も踏まえ、予防接種費用の助成制度について緊急対策を講じることを検討する。



都市計画道路・上沢勝瀬通り線の整備状況は

西 和彦議員

問 今年度、業務委託料や用地取得費の予算を計上し事業の推進を図っているが、進捗状況は。

答 2件の用地を取得し、計画の約60%の用地取得が完了した。引き続き地権者のご理解のもと、残る用地の取得を進めたい。



上沢勝瀬通り線整備予定地

方にバトンが渡せていない。地域だけに人材育成を委ねるのは難しいが、市で考えられる支援策はあるか。

答 PTAや消防団など地域の活動に参加している若い世代の方々を、機会を捉えて自治組織の活動につながるような仕組みづくりなどを研究していきたい。

交通安全のための路面標示の適切な維持管理

問 大井総合支所や東入間警察署周辺の路面標示が、経年劣化等により消えかけているところが目立つ。維持補修の考えは。

答 土地区画整理事業により整備された地域で、約30年が経過し路面標示の劣化箇所もあることから今後も計画的に路面標示修繕工事を実施していく。

死亡に関する手続の一元化を

谷 新一議員

問 死亡手続の現況は。死亡届の提出で来庁された方に対して、関連した手続、担当課等を掲載したチラシをお配りし、ご自身で各窓口を回っていただいている。

問 遺族の負担軽減のため、おくやみコーナーの設置の考えは。

答 現在、窓口サービス向上検討会議を開催し、関係各課の連携、協力体制の向上を図っている。設置は、先進事例を参考にサービス向上の観点から研究していく。

保存樹木の対策

問 保存樹木が減少している要因は。

答 開発や維持管理の負担増によるものが挙げられる。

問 歴史的、景観的に重要な保存樹木に新たな助成制度の考えは。



みどりの条例に基づく保存樹木

答 管理委託協定の在り方について、他市町の現状等を調査していく。

市道第262号線（駒西小脇道路）の整備

問 今後の整備手順は。

答 都市交通マスタープランで第2次優先整備路線に位置づけられた。各地権者の事情を考慮し、用地幅やタイミング等について、相談を重ねながら用地交渉を進めていく。

国民健康保険税の引き下げ

新井光男議員

問 高すぎる保険税を協会けんぽ並に引き下げができないか。40歳〜64歳の単身の方で収入300万円の場合での比較は。

答 国保は21万2300円、協会けんぽは17万8152円となる。

問 国保運営協議会答申への対応は。

答 現行どおりに据え置くと答申があった。平成31年度は税率改正を見送る。

大人の発達障がいへの支援

問 市内の実態把握は。

答 窓口相談や各種サービス利用など、市とのつながりのある場合以外の把握は難しい。

問 相談・支援の体制強化を。

答 障がい福祉課、障がい者相談・就労支援センター、ふくし総合相談セ

ンター「よりそい」などが相談窓口となり、保健所等と連携し、実状や特性に応じた支援を行っている。

国道254号大井坂上擁壁の修景効果

問 県との調整を行い、小中学生の参加により、地域の伝統・文化作品の掲示ができないか。

答 住民から伝統、文化作品の掲示要望がある場合や、小中学校の児童・生徒が擁壁に絵画を描きたい要望がある場合には県と協議する。



東台小学校入口交差点付近

学校の体育館にエアコン設置を

川畑京子 議員

問 災害時の避難所となる体育館の環境整備に、緊急防災・減災事業債などを活用し、エアコンを設置できないか。

答 現在、学校施設の環境改善のため、校舎の大規模改造工事を計画的に進めている。

今後は、緊急防災・減災事業債を活用して設置した他市の事例等の調査を行い、最も効果的な工法、費用等について研究していく。



指定避難所の体育館

小中学校の置き勉の状況は

問 通学時の荷物の軽減に對しての工夫は。

答 宿題で使用する教材を明示し、使用しない教材は置いて帰るなど工夫をしている。

また、紛失や盗難等への対策も含め、児童生徒に過度の負担とならないよう、発達段階や学習上の必要性を考慮しながら指導していく。

スピーチプライバシー対策

問 会話が漏れない対策として、スピーカーなどを市役所及び大井総合支所の窓口へ設置しては。

答 今後BGM、スピーカー設置の効果について調査検証し、スピーチプライバシー対策の環境整備を研究していく。

幼児教育の無償化は

伊藤美枝子 議員



問 2019年10月から0歳から2歳児は住民税非課税世帯を対象に、また3歳から5歳までの全ての子どもを利用料の無償化が開始される。子ども・子育て支援新制度の対象とならない幼稚園や認可外保育所などは状況が異なる。保護者への周知・啓発、相談窓口の対応は。

答 具体的内容が明らかになり次第、迅速かつ的確にホームページや市報、窓口でのお知らせ情報を活用し、利用についての具体的な情報提供をしていく。

妊産婦へのサポートを強化

問 相談者の妊娠・出産・子育てに関する悩みに寄り添い、孤立感・不安感の軽減を図るために、専門職のほかに子育て経験

者など一定の研修を受けた人を活用しては。

答 専門職だけではなく子育て経験者などにご協力いただき、実施に向けた検討をしつかりとしていく。

問 家族などから十分な育児等の援助が受けられず、心身の不調や育児に不安などがある産婦の産後ケアの取り組みは。

答 病院の空きベッドを活用する宿泊型など、実施に向けた検討を前向きに行う。

青少年専用グラウンド

小高時男 議員

問 子どもたちが自由にスポーツのできる専用施設が少なく感じる。広場のように使えるグラウンドの増設を。

答 青少年の健全な育成を目的とするスポーツ推進に効果的と認識している。今後、関係団体の意見を伺い、既存施設の活用も含め研究する。

部活動をする場の確保

問 中学校で部活動を行う運動施設は、適切に確保されているか。

答 各学校で競技ごとの活動できる広さや数に違いはあるが、グラウンド



などの使用は曜日や時間をずらすなど、効率的に使用できるよう校内で調整している。

私道の舗装を

問 未舗装の私道をなくし、市民が快適に住めるために。

答 国の方針に基づき要綱を整備し、舗装の部分的な補修などができるようになった。私道に関する相談は増加傾向にあり、今後も丁寧に説明をしていく。

防犯カメラで犯罪の抑止

問 小・中学校の通学路にも増設を。

答 市内の犯罪総数は減少傾向にあるが、道路などへの設置の必要性は高まっていると認識している。プライバシーへの配慮などを踏まえて検討していく。

自転車の安全利用促進に向けて

加藤恵一 議員

問 清見第1公園の信号機を改修しては。

答 近年施設の老朽化が進み園内の改修を行ったが、信号機の改修は、機器の型式が古く部品調達ができないため難しい。今後は利用状況を踏まえ、代用品による運用も含めて検討する。



子ども自転車教習所

地域防災力のさらなる向上に向けて

問 第7回ふじみ野市総合防災訓練の概要は。

答 市単独の訓練として、災害対策本部、地域防災拠点及び地区対策本部の3層の応急活動体制の検証を目的に市役所全職員、防災関係機関や地域住民など6000名が参加し、実践的な訓練を実施した。

今後においても、毎年継続的に3層の活動体制を整備し、実践的な訓練を積み重ねていきたい。

成人年齢引き下げ後の成人式は

民部佳代 議員

問 成人年齢が18歳になった人、成人式はどうなるのか。

答 早急に検討する。

問 20歳の式典で新成人を祝う意義はなくなる。法改正を機に実行委員会による同窓会形式に変更しては。

答 今は考えていない。



がん患者への支援

問 がん患者の生活に必要な行政サービスの情報が届いていないが。

答 相談窓口の必要性は認識している。

問 市はがん検診を行う

ている。がんと診断された人に情報提供することはできるのか。

答 要精密検査の人は把握できるが、その後の診断は把握していない。

問 40歳以上のがん患者は介護保険サービスが利用できる。20代、30代の患者への支援を。

答 研究する。

小中学生への性教育

問 性被害、性感染症、望まない妊娠など、自分の身体を守るために性教育は必要。小中学校の現状は。

答 道徳、保健体育の授業のほか、一部の学校では養護教諭による授業が行われている。

問 産婦人科医など外部講師による性教育を。

答 児童生徒の発達段階や保護者の意見などを踏まえながら研究する。

外国籍市民に相談窓口と教育を

鈴木啓太郎 議員

問 入管法改正を機に、外国人居住者の増加が予測されるが。

答 市の委託により多言語による生活相談を実施しているNPO法人に昨年度362件の利用があり、市の国際化施策にとつて貴重な役割を果たしていると認識している。今後は対応言語の増加、相談窓口の増設などについて、日本語教育や社会保障などともに国の動向を注視して研究する。

環境ワークショップを開いては

問 今後の環境行政に欠かせない市民団体育成の方針は。

答 環境フェアや環境学習館えこらぼでの環境教育に加え、補助金により市民が環境活動に参加する機会をつくってきた



仮設トイレ設置訓練

ひとりの犠牲者も出さないために

問 災害時の避難行動要支援者の現状と対策は。

答 地域防災計画に基づき、要支援者名簿を作成。さらに外部提供への同意者の名簿を作成して関係機関に提供している。本年は、自主防災組織ごとに名簿を活用した安否確認等の訓練が行われた。

社会教育施設である公民館の今後

伊藤初美 議員

問 文化・スポーツ振興課で進めている文化施設基本構想策定までのスケジュールは。

答 文化振興審議会から昨年11月に、施設規模や機能等の基本方針となる基本構想の骨子の中間答申が示された。今後、同審議会やワークシヨップなどを開催し、意見反映を行い、2月初旬に、最終答申を受け策定する。

問 公民館運営審議会での審議は。

答 今後の運営・管理についての審議には至っていない。

問 改修後、公民館やコミュニティセンター、勤労福祉センターの3館は残るのか。

答 現在のように、明確に区分された施設形態にはならないことを教育委員会では想定している。

窓口は市民の総合相談の場では

問 役所の窓口業務は正規職員の配置を。

答 窓口が民間委託されて8年が経過し、評価は年々高くなっている。

公園トイレに幼児用便座を

問 洋式トイレに補助便座を設置できないか。

答 西ノ原中央公園と清見第1公園に設置している。今後、公園愛護会や自治組織の意向を確認し、検討していく。



西ノ原中央公園のおやこでトイレ

問 兄弟姉妹の2人目及び3人目から無償化した場合の試算は。

答 生活保護と就学援助を除き、市内の小中学生の第2子以降を無償化した場合は約9682万円、第3子以降を無償化した場合は約1064万円となる。

問 無償化を実施すべきでは。

答 保護者負担は食料費のみで、負担が困難な場合には就学援助による給



小中学校の学校給食の無償化を

床井紀範 議員

付を行っている。

子ども食堂の今後

問 現状と課題は。

答 市内で3団体が活動している。国からの通知を踏まえ、運営者同士の交流促進や安全管理等を定めた子ども食堂の運営に関する基準を設け周知を図っている。今後は活用できる国の施策を効果的に展開できるように研究する。

元福岡の水害被災者メンタルヘルス対策を

問 保健師による訪問・相談活動の積極的な展開を。

答 昨年6月、集会所で保健師などによる筋力アップトレーニングと健康相談を実施した。今年2月も、自治会婦人部主催で健康教育の場が設定されている。

幼児教育無償化の概要は

山田敏夫 議員

問 国が今年10月から実施予定の幼児教育無償化の概要は。

答 幼稚園、保育所、認定こども園等を利用する3歳から5歳までの全ての子どもたちと住民税非課税世帯の0歳から2歳児の利用料が無償化される予定である。

また、家庭保育室などの認可外保育施設を利用する3歳から5歳の全ての子どもたちは、月額3万7000円まで、住民税非課税世帯の0歳から2歳児の子どもたちは、月額4万2000円までの利用料が無償化される予定である。

介護予防の推進を

問 介護予防事業のふじみんびんしゃん体操などの普及啓発を今後どのように進めていくのか。

答 現在、25ヵ所の活動



西中央公園

樹木医の養成

問 街路樹などを管理するために市で樹木医を養成しては。

答 樹木医の養成は難しいが、樹木を適正に管理していくための研修などをしていく。

循環型で地域経済を活性化

足立志津子 議員

問 地域経済の活性化のため、公共事業の発注は地元企業優先が不可欠。再委託・下請けの賃金に踏み込んだ契約方法に。

答 元請けと下請けとの契約となるので、難しい。

介護施設の改善

問 介護従事者の複数人の退職が原因で、夏場数週間も入浴できなかった事例がある。介護サービスの受けられない利用者を出さないように市としてできることは。

答 重大な案件で県が調査する場合には、市も同行するなど、関係機関と連携し、対処していく。

就学援助認定基準の所得額引き下げ

問 市内の児童生徒の13・24%（平成29年度）が就学援助制度を利用している。対象基準の所得



水天宮交差点

額を生活保護基準の1・5倍に引き上げ、対象者の拡大を。

答 今後も、国や県内の動静を注視し、総合的に判断する。

水天宮交差点の交通安全対策

問 交差点の改良と当面の対策を。

答 交差点の改良は難しいが、安全対策については必要があれば警察と連携し対策を検討したい。

問 ホームページだけでなく、環境フェアや環境学習館えこらぼなどで特別展示をしては。

答 今後、方法を検討していきたい。



新河岸川河川敷

高齢者見守り対策を

問 スマートフォンやタブレット端末のアプリを利用して、徘徊高齢者の位置検索を行っては。

答 アプリを利用して高齢者見守りネットワークに一斉配信し、早期発見につなげているケースがある。よりよい形にすべく検討する。

多角的な不登校支援を

問 小中学校全校に無線LANが整備され、授業をライブで閲覧できる仕組みがいくつもある。不登校支援でのICTの活用は。

答 Web上で学習できるソフトを中学生で導入しているが、不登校支援にもつながると考えている。小学生については学校のニーズ等を研究していく。

デマンドタクシーの広域化を

問 2市1町で広域連携をして運行をした方が、費用対効果上がり、利用者の利便性も上がる。考えは。

答 近隣市町の事業展開を把握し、連携できるものがないか研究していく。

市上空の米軍機飛行問題

塚越洋一 議員

問 市の上空を事前通告なく飛んでいるオスプレイの飛行情報の開示と、市街地上空の飛行禁止を防衛省などへ要請すべきだ。市民の安全と静穏な環境を守るべき市としての見解は。

答 埼玉県基地対策協議会を通じて、北関東防衛局等に要望している。

オスプレイの横田基地配備や所沢通信施設に離着陸があつたので環境への配慮等の要望を別途行った。

全国知事会は、米軍機による低空飛行訓練等のルートや時期について事前情報提供することを提言として防衛省と外務省へ要望を行っている。

県などと連携し、情報の把握に努めたい。

交通渋滞の解消を

問 大井総合支所から川



大井総合支所周辺道路

編集委員が
インタビュー！

表紙：働く人シリーズに寄せて

弁護士さんに伺いました

取材にご協力いただいた佐藤哲平さん



Q お仕事の内容を教えてください。

A 事務所で依頼者と打ち合わせを行い、裁判所に提出する書面を作成し、法廷があれば裁判所に行きます。

その他にも、事務所外での法律相談を担当し、刑事事件があれば警察署に行くなど、多種多様な仕事をしています。

Q この仕事を選んだきっかけは何ですか。

A 法律は日常生活に密着していますし、法律のことを知りたいと思い、大学の法学部に入学しました。今は制度が変わりましたが、旧司法試験で合格し、弁護士登録を行い、仕事をしています。

Q やりがいを感じるのはどんなときですか。

A トラブルに巻き込まれた人や法律問題で悩み苦しむ人を法的に救済できたときなどは、仕事にやりがいを感じています。

Q 市民の皆さんに一言お願いします。

A インターネットには、誤った情報が載っていることがあります。誤った情報をうのみにしないようにご注意くださいと思います。「どういうときに弁護士に相談していいかわからない」という質問をよく受けますが、そこで1人で悩むより前に気軽に弁護士に相談されてみてはどうでしょうか。

市議会だよりは、ふじみ野市のホームページからも閲覧できます。

市議会の会議録も見られます。

政務活動費も公開しています。

ふじみ野市議会

検索



12月定例会の傍聴者は61人でした。

傍聴をお待ちしています

次の定例会の
開 会 予 定: 2月22日 午前9:30～

請願締切予定: 2月18日 午前10:00

市役所4階議場で開催します

議会広報常任委員会

委員長 有山 茂	副委員長 加藤 恵一
委員 川畑 京子	委員 島田 和泉
委員 民部 佳代	委員 鈴木啓太郎
委員 床井 紀範	

表紙の題字を書してくれた人

大井中学校3年 神木優芽さん

ふじみ野



ふじみ野市は、幅広い世代が気軽に使える施設がたくさんあります。そのような場で、高齢者と子どもたちが交流できる機会がもっと増えるといいと思います。

読者の皆様、議会だよりを読了いただきありがとうございました。筆(キーボード)を走らせているのは、年末の多忙な時期ではありますが、心を落ち着かせて臨んでおります。

比較的にコンパクトなまちである本市ですが、取材を済ませた帰り道、予想もしない出来事が起こりました。何と自転車のタイヤがパンクしてはおりませんか。「軽トラ市」の帰り道でカゴには購入した野菜がいっぱい、押して歩いて帰るのかと思うと通いなれた上り坂や商店街が脳裏をよぎり、どこがコンパクトなまちだよと少し涙が頬を伝いました。東西に7.5km、南北に6.0km歩くとなると狭くはないです。ともあれ風疹など流行の兆しもあるので、体調や健康管理にはご注意ください。(島田和泉)

編集後記